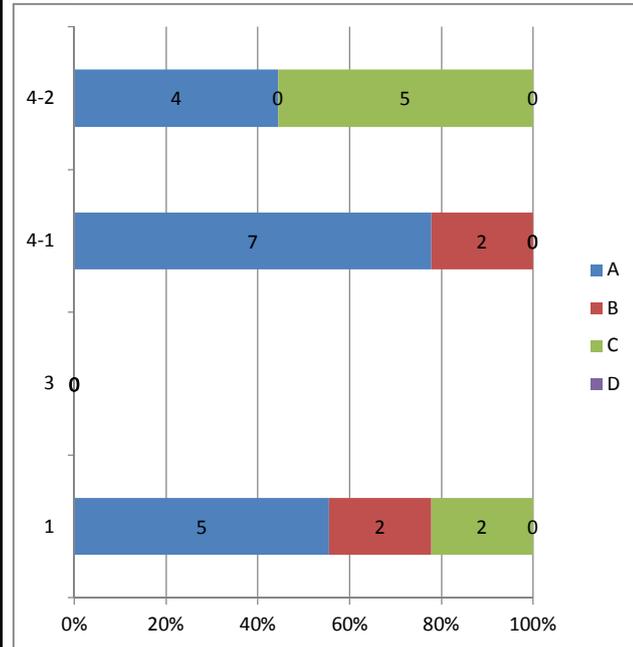


Ⅷ 意識調査とその結果分析

1 意識調査 1年

	ねん 年	くみ 組	ばん 番	しめい 氏名
1, あなたは、さんすうのじゆぎょうはたのしいと <u>思</u> いますか。右のメモリで当てはまるものに○をつけてください。	おも			ととも まるまる あり ぎんぎん
3, あなたは、あたらしいもんだいをとくとき、 <u>今</u> まで <u>習</u> ったことを <u>思</u> い出してといていますか。右のメモリで当てはまるものに○をつけてください。	いま	なら		いつもする 時々 ほとんどしない まったく
4-1, あなたは、もんだいをとくときに、ぶろっくやおはじき、カードなどをつかって、といていますか。右のメモリで当てはまるものに○をつけてください。	いつもする	時々	ほとんどしない	まったく
4-2, ぶろっくやおはじき、カードなどをつかって、 <u>とき</u> 方を <u>友</u> 達に <u>説</u> 明することができますか。右のメモリで当てはまるものに○をつけてください。	できる			できない
5, どうすれば算数がもっと <u>楽</u> しくなると <u>思</u> いますか。 わからないばあいは書かなくてもよいです。				

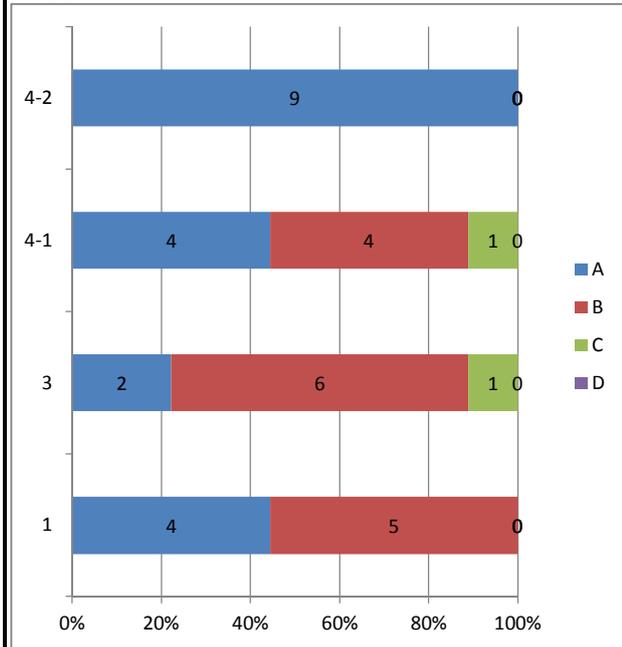
第1回



分析・傾向

- 算数が楽しいと感じている児童が多いが、2人楽しくないと感じている児童がいる。アンケートをとった時に、算数のテストを返した後で、百点でなかったことが楽しくないと感じている理由だということだった。やはり、成功をした時は楽しいと感じる児童が多く、間違った時には楽しくないと感じているようだ。
- 算数が好きだと感じている児童の中にも、説明をするとなると自信がないようだ。一人一人の児童が、説明する学習の練習ができるように、ペアなどの少人数で説明する場面を多く取り入れて、自信をつけていく必要がある。

第2回



分析・傾向

- 算数を楽しいと感じている児童が1回に比べて増えてきた。計算したり、みんなで一緒に考えたりする学習が楽しいようだ。しかし、文章問題に苦手意識をもっている児童もいるので、まとめの際に文章問題に触れる機会を多く取り入れて克服できるようにしていく。
- 既習事項を基に問題を解いている児童がほとんどであったが、1名のみ、ほとんどしていないと答えた。既習内容と新しい学習内容の関連に気付かないことが考えられる。
- 4-1の「問題を解くときにおはじきやブロック、カードを使っているか。」ということに対して、ブロック等を使わずに解いていると答えた児童が増えた。計算になれてきたため、ブロック等を使わなくても計算ができるようになったと考えられる。しかし、計算の確かめなどで使用していくようにする。
- 第1回に比べて説明することにも自信がついてきたようだ。自分の考えを友達に説明することは楽しいと答えた児童が多かった。